

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機設計及び工事計画）【314】
2. 日時：令和4年11月14日 13時30分～16時50分
3. 場所：原子力規制庁 9D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

津金主任安全審査官、服部(靖)安全審査専門職、植木技術参与、山浦技術参与

技術基盤グループ 地震・津波研究部門

堀野技術参与※

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他7名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 設備技術室 担当※

5. 要旨

(1) 中国電力株式会社から、島根原子力発電所2号機の設計及び工事の計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書（原子炉本体の基礎及び取水槽ガントリクレーンの耐震性についての計算書等）について、令和4年11月2日及び8日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

【原子炉本体の基礎の耐震性について】

- 原子炉本体の鉛直方向地震応答解析モデルにおける、3次元FEMモデルを用いた鉛直方向のばね定数算定について、荷重の算出方法を詳細に説明すること。
- 鉛直方向地震応答解析モデルにおける球殻部を考慮したばね定数に関する影響検討について、今回工認モデル、影響検討モデル及び3次元FEMモデルにより算出した鉛直方向の固有周期を比較して説明すること。
- 鉛直方向地震応答解析モデルにおける球殻部を考慮したばね定数に関する影響検討について、3次元FEMモデルに基づく鉛直方向ばね定数を用いた影響検討モデルの応答が今回工認モデルの応答を超過した設備について、応答倍率と耐震裕度の比較結果を説明すること。

(3) 中国電力株式会社から、本日説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

なし